



R-CORPORATION

外部評価のご案内

認知症高齢者グループホーム 小規模多機能型居宅介護

1. 地域密着型サービスとは

Rの特徴

- 福祉サービス業界に特化した、従業員教育研修受託会社です
- 人材教育・組織分析事業を糧に、「評価」への視点を熟慮しています
- 調査員は姿勢・技術・知識・接遇面等におき徹底研修を行なっています
- 評価後、弊社独自のサービスとしてベンチマーキング分析等で「強み・弱み」を抽出し、次期計画へのお役立てを致します

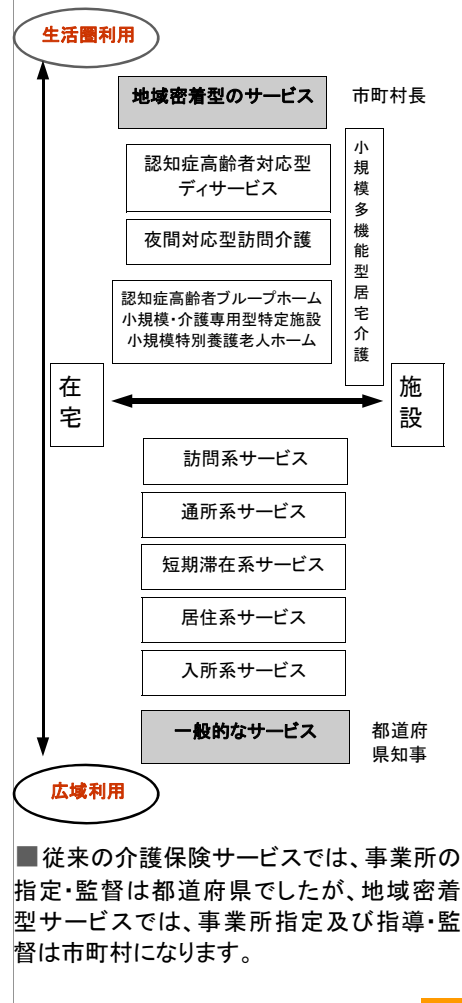
■1970年代、認知症の人の存在やケアの問題がクローズアップされ始め、試行錯誤が積み重ねられ、2003年“本人の尊厳ある暮らしの継続を支援する為の具体的な方針と方策”とし、「2015年の高齢者介護～高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて」が示され、この考えが『地域密着型サービス』の根幹となっています。今後も、在宅介護サービスの充実や高齢者の地域生活を支える新しい拠点作りを推進し、長く住み慣れた地域で利用者本位に、暮らし続けることを支援し、地域に根ざした包括的及び継続的なケア体制を構築するために、『地域密着型サービス』の役割が重視され且つ、重点的に取り組まれることになりました。

<4つのポイント>

1. 本人本位の支援
2. 継続的な支援
3. 地域で暮らし続けることの支援
4. 地域との支えあい

～その人らしさを大切に、一人ひとりに寄り添い、地域での暮らしを支える～

<新たなサービス体系の確立>



目次：

地域密着型サービスとは	1
R-CORPORATIONはどんな会社？	1
グループホームの特徴と役割	2
小規模多機能型の特徴と役割	2
外部評価改正の目的	2
評価のねらい・その特徴	3
地域密着型サービス評価項目の策定とポイント	3
従来→改正サービス評価項目との比較	3
サービス評価全体の流れ	4
Rのかたえくぼ	4

R-CORPORATIONはどんな会社？調査員は？

■平成7年に「人と社会を教育で結ぶ」スローガンを掲げ、福祉に特化した社員教育研修(受託研修)及び福祉における資格講座等を運営実施している会社です。平成15年に福祉サービス第三者評価機関(神奈川県・横浜市・川崎市)・外部評価機関(神奈川県)として認定を頂き、現在100件のグループホーム外部評価に当たらせて頂いております。

■Rの評価調査員は、介護有資格者であり、シニアピアカウンセラー講座を受講し、神奈川県の研修及び弊社の事業内容でもある介護者接遇研修等の研修の基、調査員として求められる、高齢者心理・認知症の知識を持ち、利用者の立場に立った姿勢・事業者の支援者としての態度、公平と客観性の視点、そしてヒヤリングでは対話と傾聴を心得、事業所の質・サービスの向上に向けてスムーズな訪問調査に努めます。評価は調査の「事実」を基に特徴・工夫・期待・取り組みを具体的に記し「真実」として調査結果報告書を公表させて頂きます。



2. グループホームの特徴と役割

■認知症の人を丸ごと受け止め、寄り添いながら生きることを支える場としての存在がグループホームです。

また、認知症による様々な機能低下を補い、安心と意欲を生み出す生活空間とケアサービスを総合的に提供する場です。

<グループホームの条件>

～認知症の人が安心して、そして自分らしく暮らし続けていくために～

1. 小規模で自由な住まい方
2. 馴染みの環境
3. 馴染みの人間関係
4. 24時間、365日の専門的ケア
5. 町の中での暮らし

<グループホームの特徴>

- ①慣れ親しんだ生活様式が守られる暮らしとケア(安らぎがあり、束縛のない暮らし)
- ②認知障害や行動障害を補い、自然な形でもてる力を発揮できる暮らしとケア
- ③少人数の中で一人ひとりが個人として理解され、受け入れられる暮らしとケア(人としての権利と尊厳、個々の生活史と固有の感情)
- ④自信をとり戻し、感情豊かに過ごせる暮らしとケア(衣・食・住全般に生活者としての行動、役割を回復)
- ⑤豊かな人間関係を保ち、支え合う暮らしのケア(家族との、共に住む者同士としての、スタッフとの、地域社会との)

～ご家族アンケートより～

- ◆満足の声
 - ・本人の変化
 - ・職員の対応に満足
 - ・家族への配慮
- ◆満足できていない点の声
 - ・本人の会話や活動が低下
 - ・職員の量・質の不足
 - ・家族への接触不足
 - ・期待外れ

3. 小規模多機能型の特徴と役割

■小規模多機能は、従来のディサービス、ホームヘルプ、ショートステイ等の居宅サービスを一つの事業所で提供することができます。これらの機能を利用者の状況に応じて包括的且つ、柔軟に提供し、24時間365日の暮らしの支援を自宅に居ても可能とする新しい仕組みです。小規模多機能の提供するサービスは、「利用者一人ひとりのニーズ」に沿い「自宅で生活を継続する為に必要となる多様なサービス」を「一つの拠点から」「一体的・連続的に提供」するものです。異なるサービスを複合等で提供する事業所とはサービスの根幹が違います。

<5つの基本となる機能>

1. 通いの機能

通所介護・ディサービス

2. 泊まりの機能

短期入所生活介護・ショートステイ

3. 出向く機能

訪問介護・ホームヘルプ

4. 住まいの(長期宿泊)機能

認知症対応型共同生活介護・グループホーム

5. マネジメント機能



「行く度に皆さんと楽しそうに過ごしており、本人もここは良いところだと言っています」Aさん

4. 外部評価改正の目的

1. 利用者及び家族の安心と満足を図る
2. ケアサービスの水準を一定以上の維持
3. 改善点を明確にし、改善に向けた関係者の自発的努力と体制づくりを促す
4. 継続的に評価を行なうことを通じて、関係者による自発的な研修等によるケアの向上を促す教育的効果をねらう
5. 地域密着型サービスに対する社会的信頼を高める

■自己評価

職場全体で評価に取組み改善点を明確にし評価を具体的な改善にむけた契機とする

外部評価結果を基に事業所は客観性を高めた総括的な評価を行い改善を図る。

□外部評価

評価機関による一定項目に関する訪問調査・書面調査に基づく評価



「スタッフの方 はいつも、もっと良くして行こうという前向きな姿勢を感じる」Bさん

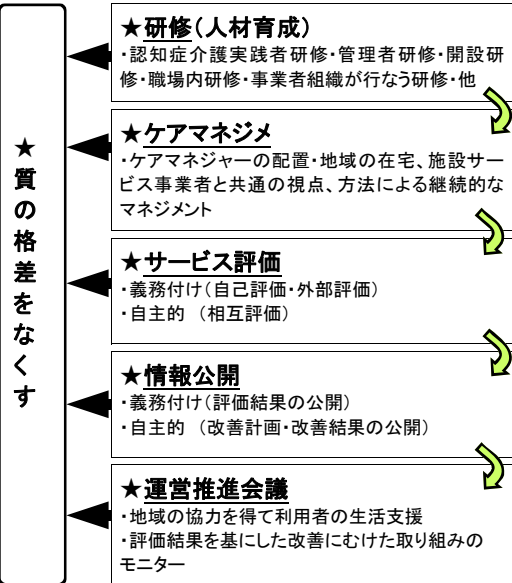
5. 評価のねらい・その特徴

<評価のねらい>

～年1回のノルマとした単発的な作業から計画的且つ、有機的な相乗的展開へ～

- 事業者間や職員間の質の格差を埋め、質を確保する
- 既にある制度に基づく取り組みを関連づけ、一環したシステムとして相乗的に活かす
- 研修、ケアマネジメント、サービス評価、情報公開、運営推進会議等の質の確保策を展開し、成果のみならず運営の効率化を図る

利用者・家族・地域社会の安心と信頼の確保



※共通の理念・視点・内容を盛り込んだ質の確保策の体系

～ご家族アンケートより～
◆訪問しやすい理由NO1.
「職員がいつも笑顔」



「何よりも本人の表情が豊かになり、生き生きと暮らしていますよ」Cさん

6. 地域密着型サービス評価項目の策定のポイント

(既存)評価のねらいから逸脱した評価の点検作業や出来ている項目数を競う



(改正)サービスの本質や現状を振り返り、質の向上にむけた実質的な取り組みを誘導できる評価方法へ

- ★自己評価→全職員が取り組める項目数(100項目)
- ★外部評価→調査員が現場をじっくり視察し、共に過ごし、十分に対話できる項目数(30項目)

<ポイント>

～事業所側、評価機関、家族等の中で理解や解釈のずれを防ぎ、共に取り組み活かす～

■自己評価

- ①各項目について意見や気づきの「声」を吸い上げる
- ②職員全体で取り組み、気づき、点検、認識、周知の機会を得、共に考える
- ③改善策、実行計画等の内容の充実を図る
また、次年度に取り組む内容と区別をする
- ④重点度や終末期、運営推進会議、介護計画の取り組み

■外部評価

事実確認や対話を通し、運営者、管理者、職員が改善の必要性への気づきと、より良くしていく向上への支援

—Rの受審料金—

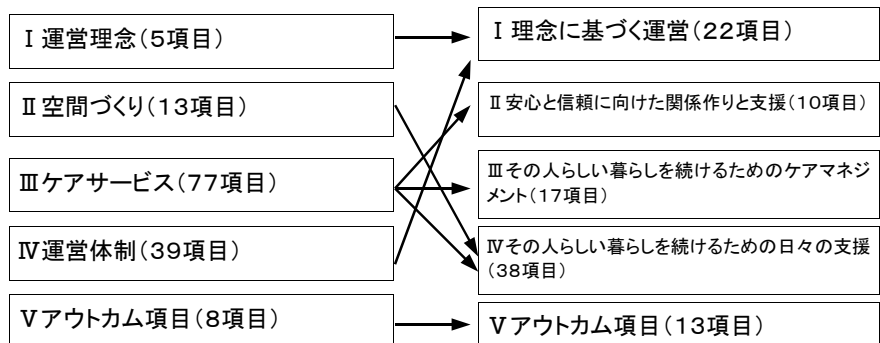
■グループホーム外部評価
1～3ユニット
★98,000円

4ユニット
★200,000円

■小規模多機能型外部評価
★98,000円

7. 従来→改正サービス評価項目との比較

■グループホーム評価項目▶ ■地域密着型サービス評価項目



計142項目(134+8)▶ 計100項目(87+13)

～Rは福祉サービスの質の向上に貢献します～
Rはホスピタリティマインドの姿勢を持ち、
ホスピタリティな商品を提供しています



(株)R-CORPORATION

〒221-0835
横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8SYビル2F
(横浜西口徒歩5分、鶴屋町3丁目交差点角)

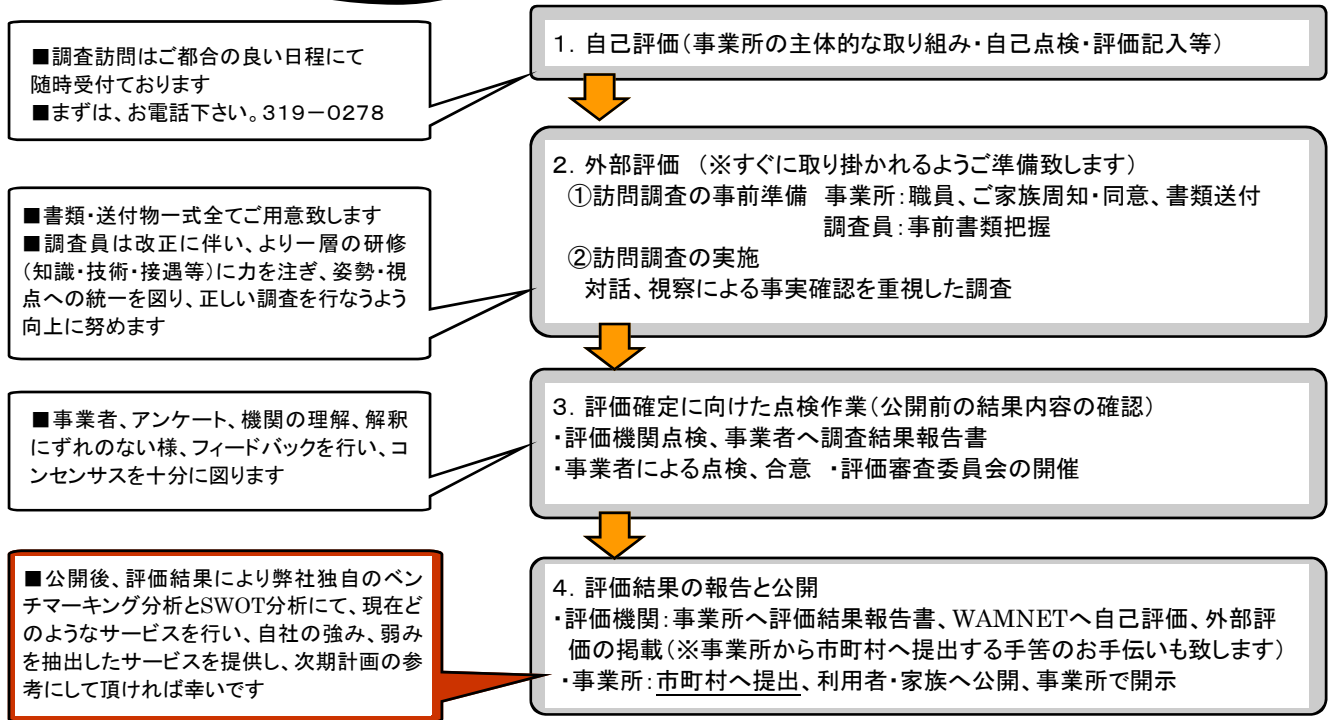
電話 045 (319) 0278(代)

Fax 045 (319) 0268

Email pr@r-corp.jp

ホームページもご覧ください
Http://www.r-corp.jp/

8. サービス評価全体の流れ



Rのかたえくぼ



私どもが評価機関として携わらせて頂き始めて、グループホーム・小規模多機能型事業所の多くの経営者、管理者の方々にお会いする機会を頂きまして、有難うございます。皆様の想い、熱意に触れ、私も同じ経営者として多くを学ばせて頂いております。相互の視点を交錯しながら、刺激と気づきがあり、そして深い愛情と感謝の気持ちを日々持ちながら精進しておられる姿は何より感動です。ご利用者と共にやさしく“暮らし”、ご家族への配慮、従業員への教育、地域の方への気配り、理性と感情を駆使しながら工夫と試行錯誤される中、現実と理想の狭間でご自分自身との戦いもあることでしょう。社会貢献に尽くし、あらゆる「人」の立場に立ち自身を投資しながら、誠心誠意

お努めされるその揺ぎ無き「信念」に凄いエネルギーを感じずにはいられません。訪問の際、いつも勇気を頂いております。外部評価が改正され、情報の公表も導入され、日々の業務の上で大変かと存じますが、これらを通し、スタッフの方々と対話が増え、ご利用者を感じる場がより増え、日々工夫を凝らし行っておられる事等が、意義あるものに還元されることと思っております。行動は点から線へとつながれ、より経営者・管理者の展望が明確となり、職員の方々とも士気を共有できる機会となり、より良いサービスを向上していかれることと確信しております。是非、お体に留意され、また皆様とお目にかかれることを楽しみに致しております。

倉内エリカ